

「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等(平成20年11月分)について

(11月28日現在)

(1) 問い合わせ件数

平成20年 11月4日～平成20年 11月28日

119 件

(2) 内訳

① 食品安全委員会関係	11 件
委員会	1 件
リスクコミュニケーション	1 件
広報・ホームページ・メールマガジン	9 件
② 食品の安全性関係(注1)	19 件
健康影響評価全般	2 件
化学物質系	10 件
生物系	1 件
新開発食品等	5 件
BSE関係	1 件
③ 食品一般関係(注2)	75 件
化学物質系	10 件
生物系	3 件
新開発食品等	2 件
BSE関係	2 件
衛生関係	47 件
食品表示関係	5 件
その他	6 件
④ その他	14 件

注1) 食品の健康影響評価に関すること、ファクトシートの内容に関すること等、主として食品安全委員会の行う科学的評価に係る事項

注2) 食品一般に関する事項及び表示や衛生管理等、主としてリスク管理に係る事項

(参 考)

食の安全ダイヤルへの質問等のうち食品危害事案関連件数
(9月～11月)

食品危害事案	9月	10月	11月	合 計
こんにゃく入りゼリー関連	1	42	0	43
メラミン(中国製乳製品等汚染)関連	19	30	8	57
事故米穀不正規流通関連	67	13	39	119
トルエン(つぶあん、ウインナー)関連	0	4	0	4
ジクロロボス(冷凍いんげん)関連	0	4	0	4
中国製食品全般	0	5	0	5
その他	84	111	72	267
合 計	171	209	119	499

(3) 問い合わせの多い質問等

【食品の安全性関係】

Q ADI（一日摂取許容量）は、NOAEL（無毒性量）を安全係数※で割ることによって求められるのですが、NOAELとはどのように決めるのですか。

A NOAEL（無毒性量）とは、動物を使ってある物質について何段階かの投与量を用いて毒性試験を行い、何ら有害な影響が認められなかった最大の投与量のことです。

各種動物（マウス、ラット、ウサギ、イヌ等）を使った長期間投与時の毒性試験や発がん性、胎児への影響等の試験において得られた個々のNOAEL（無毒性量）の中で最も小さい値を、ADI設定に使用します。

使用すべき動物種なども含めた試験方法に関しては、ガイドラインが定められています。

ガイドラインの例：「農薬の登録申請に係る試験成績について」

（平成12年11月24日付け12農産第8147号農林水産省農産園芸局長通知、<http://www.acis.famic.go.jp/shinsei/index.htm>参照）

なお、動物試験において何段階かの投与量が設定されますが、適切な投与量設定のための予備試験が行われ、NOAEL（無毒性量）を得るように考慮されています。

※安全係数

実験動物と人間の「種の差」や人間の性別、年齢、健康状態などの「個人差」を考え、さらに安全を考慮した係数のこと。通常100を用いるが試験データの質によっては、さらに高い値が使われる。